

発行所
相馬市中村字桜ヶ丘71
(株)相双法人会
発行人
会長 酒井利治
編集
広報委員会
発行月日
平成9年8月11日

支部自慢コーナー

⑤ 原町市

毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り・ながめ等を載せご紹介します。



“文化情報の発信基地”

— 野馬追の里歴史民俗資料館 —

野馬追の里歴史民俗資料館は、平成7年8月に開館しました。すでに3万8千人の入館者を数え、県内はもちろん、関東東北の各県からの団体客も数多く



常設展示室は野馬追の展示コーナーを始めとして、自然・歴史・民俗・考古の各分野にわたっており、特に、原町火発敷地発掘により発見された、8世紀ごろの竪形製鉄炉の実物展示は全国で唯一のもので、6月15日に「交通にみる近代化―海岸線の開通」が好評のうちで終わったばかりです。7月12日より8月17日まで「造形の美―当世具足の世界」が開かれ、貴重な甲冑12領が展示されています。なお、この資料館は登録博物館で、総合的な文化情報の発信基地でもあるのです。

みられます。周辺一帯は、県が県内7地区に設ける広域公園として整備されており、若葉の緑に生える白亜の建築はすばらしく、東ヶ丘公園が完成すれば博物館ゾーンの中核施設としての役割を担うことになりま

す。

延べ床面積は、およそ2、300平方メートル、常設と特別の2つの展示室を中心に、体験学習室、シアター（紹介映画を上映）、収蔵庫、さらには補修工作室と燻蒸室、写真スタジオを備えている。

(社)相双法人会 社会貢献活動 第 1 弾!!

相双

味

ちびっ子相撲大会

平成 9 年

8 月 20 日(水)

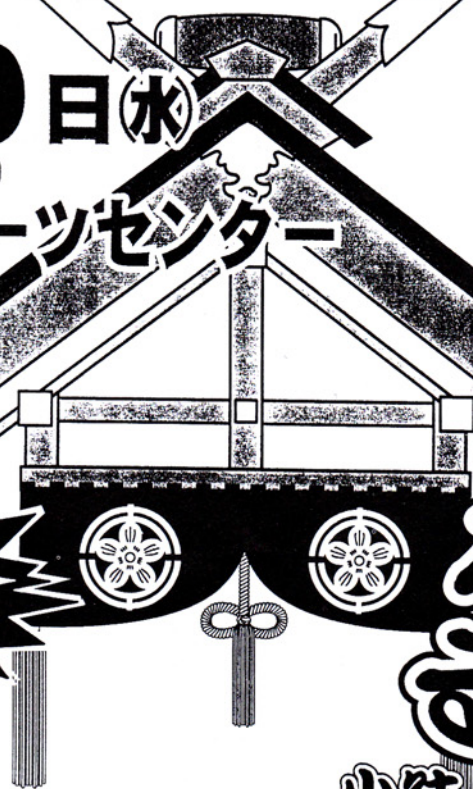
午前 9:00 ~ 12:00

原町市スポーツセンター

山結
栃東

来たる

317名!!
出場決定



相双 ちびっ子相撲大会

【玉ノ井杯】

試合形式 小学生によるトーナメント戦 3部門

- ① 1・2年生の部
- ② 3・4年生の部
- ③ 5・6年生の部

表彰 各部門上位者にタテ + 副賞
全員に参加賞

山結
栃東といっしょに

相撲大会終了後 ふるまりちゃんコ鍋

玉ノ井部屋鍋

相双味自慢鍋

玉ノ井部屋力士によるづつかり稽古

山結 栃東 vs

ちびっ子力士

主催	北城のお役に立ちます 社相双法人会 相双相撲連盟 玉ノ井部屋後援会			
後援	福島民報社	福島民友新聞社	河北新報社	朝日新聞社
	読売新聞社	毎日新聞社	NHK福島	福島中央テレビ
	福島テレビ	福島放送	テレビユー福島	大同生命

第22回

通常総会 開催!



第22回通常総会は、去る5月27日(火)、原町市のロイヤルホテル丸屋において実出席者1007名、委任状897名、総数1004名により開催された。

まず、酒井会長の挨拶のあと平成9年度支部役員、会員増強功労者、優良経理担当者、永年勤続功労者の各表彰が行われ、永年、役員として功労のあった坂本良二副会長、富岡支部事務局亀岩信雄氏ら総勢39名に対し、会長より表彰状と記念品が伝達された。

続いて、福島県連の佐瀬恒一専

務、奥山修相馬税務署長からご来賓のご挨拶をいただき、会長が議長となって議事が進行された。

議事は、平成8年度事業経過報告並びに収支決算、平成9年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、定款変更、役員改選の件と盛りだくさんだったが、全て円滑な進行のうちに原案のとおり可決承認された。

総会終了後には、出席者全員で懇親会が催され、新役員体制のもと和やかなうちに終了した。

尚、新役員は左記の通りです。

○会長/酒井利治

○副会長/桜井文博、渡部昭三、

菅野俊夫、松永輝彦、高橋英明、

菅野萬正、熊川喜八郎、松本定

雄、千葉公平、川原百人

○常任理事/阿部多一、荒井宏美、

只野裕一、角田義正、渡部悦孝、

庄司公正、高野建夫、波佐洋子、

濱田幸政、江井貞巳、泉田 隆、

作山博之、根本充春、藤沢徳義、

坂本行生郎

○監 事/齊藤京市、長谷川誠三

第1回 会員親善ゴルフ大会



当会全体でははじめての会員親善ゴルフ大会は、去る6月10日(火)、鹿島カントリークラブに於いて77名の参加により盛大に開催されました。

午前8時、あいにくの霧雨ではありましたが、酒井会長の挨拶のあと松本実行委員長が競技方法に

ついて説明し、8時24分、酒井会長、熊川副会長、松本副会長が始球式をし、各ホールに分散してスタート。1時間後ぐらいには雨も上がり、蒸し暑いレインウエアを脱ぎ捨て、のびのびとスコアメイクに勤しんでいました。

相双全域とあって初対面の参加者も多く、スタート時は少し緊張感みではありましたが、ハーフホールアウト時には一喜一憂、昼食の乾杯の声にも終始和やかな雰囲気のを伺わせていました。

プレー終了後、直ちに表彰式が行われ、酒井会長から全参加者に、優勝からB・Mまで漏れなく賞品が手渡されていた。ちなみに、今回の参加賞はアサリとハマグリのおまけ合わせ。浜通りならではの品物でした。おそらくその晩の夕飯には、アサリ汁が食卓を賑わしたに違いありません。

コンペの結果は次の通りです。

▼優勝 渡辺敦夫(㈱福建コンサルタント) ▼準優勝 早坂丈夫(㈲サントップ) ▼第3位 桜井道義(桜井興業(株)) ▼第4位 堀内信夫(㈱原町自動車教習所) ▼第5位 立谷幸雄(㈲立谷商会)

(敬称略)

社団法人福島県法人会連合会
第12回通常総会開催



田中善六県法人会連合会長のあいさつ

**組織を通じ、強力な税制改正要望と
 その実現を**
地域社会への貢献活動の推進を

去る5月26日、福島市「ウェディングエルティ」において、福島県法人会連合会第12回通常総会が開催された。当日は、佐野一重仙台国税局課税二部長、県内税務署長代表の田中守福島税務署長はじめ、来賓多数のご臨席をえ、審議の結果、提出議案全てが承認。法人会

組織を通じ強力な税制改正要望とその実現に努め、昨年より実施された地域社会への貢献活動も引き続き推進する事となった。
会長に田中善六氏再選
 あわせて行われた任期満了に伴う理事・監事の選任では、会長に田中善六氏が再選された。

また総会に先立ち行われた表彰式では、役職員の表彰など田中会長から表彰者一人一人に賞状、記念品が手渡された。
 当会からの受賞者は、次の通り。

(敬称略)

全国法人会総連合功労者表彰

☆単体会役員表彰

齊藤京市(原町)

(社)福島県法人会連合会表彰

☆単体会役員表彰

庄司公正(原町)

星豊綱(鹿島)

関場啓(原町)

☆会員増強功労表彰

坂本良二(富岡)

菅野利男(相馬)

北原藤夫(飯館)



支部だより

町支部

第22回通常総会開催

原町支部の第22回通常総会が、5月22日(木)午後4時から市内のマリアージュパレス出雲に於いて開催されました。

総会には、ご来賓として相馬税務署法人税第一部門統括官の早川進さん、東北税理士会相馬支部副支部長の平間 廣さん、(社)相双法人会事務局長の吉田一直さん、大同生命保険相互会社原町営業所長の鹿俣正晴さんのご臨席のもと審議が行われ、提出議案の全てが承認可決されました。

議案の中では、役員改選の件も審議され、全員再任ということでこれから二年間の負託をお願いすることに決定しました。

又、今年度の活動としては、原町支部の法人会加入率が低いことから組織強化委員会の設置も視野に入れながら、加入勧奨を積極的に行うこと。同時に、勧誘にあたっては、魅力ある会運営が前提とな

るので、このことを踏まえ、今後より一層の事業活動の充実を図るとともに、会に対して何を期待しているか、又、会としてどのようなことをしていってらよいかを、会員の皆様に事あるごとにお聞きしながら、事業に反映させていければ!!と心新たにしました。

高部 小支

小高支部総会開催

平成9年5月16日午後3時から、和泉屋に於いて法人会小高支部総会が開かれました。ご来賓には、相馬税務署より法人税統括官菊池健治さんはじめ、役場から町長の代理として江井助役さん、商工会から大橋会長さんが出席して下さいました。会員の出席人数は18名でした。ちょっと少ないなと感じました。

開会の言葉を西副会長にお願いして、ご来賓の方々にそれぞれご挨拶をいただき、早速議事に入りました。

例により、会長が議長となり大変スムーズに議事を終えることができました。懇親会に入り、冒頭に私が議事進行へのご協力を感謝しながら、一言ご挨拶申し上げま



した。「法人会や商工会など、いろいろなかの会・クラブがあり、その中の会員と友達になりそれぞれ支え合い、

この厳しい経済不況を乗り越えよう。それには昔の日本人か中国人かは分かりませんが、文字を作った人はすばらしい人だなと感じております。「人」という文字ですが、一本の斜めの線が、少し短おもう一本の線に支えられて立っております。ということは、人は決して一人では立ってゆけない、ということを物語っております。

このことを私の家内に話したところ、「あんたなんか私が支えていなかったら、とっくにぶっ倒れてるわ!」なんて言われました。

尤も、最近の「人」の文字は男女同権になったせい、「人」の文字が同じ長さになりました。この「人」の文字のように沢山の人々に支えられ、支えあって成長し、

そして生き残っていくのです。そのために、法人会や商工会などは友人の集まりを作り、一人でも多く支えてくれる人を求めるための会なのです。

今後会員を増やして、支え合う同志を多く持つことに努力しましょう。」と、このような内容でした。懇親会に入り、ご来賓の方々も最後までお付き合いいただき、和やかに終了しました。

(菅野萬正・筆)

江部 浪支

会員親睦ゴルフ大会

当初1月22日を予定しておりました浪江支部親睦ゴルフ大会は大雨のためクローズとなり、去る6月10日の相双法人会ゴルフ大会の当日に便乗し、これを開催しました。

大会参加の皆様はご存じのことでしょうが、当支部の組合せを先にしていただき、午前8時24分にスタートしました。

スタート時は、雨のために各選手嚴重な装備の上、小雨降る新緑の中へとスタートして行きました。ハーフ終了後のクラブ食堂では、それぞれのスコアの点検と後半へ

の意気込みを語り合い、和やかな中にも各自闘志を燃やしチョコレット獲得へとスタートしました。

以下は上位の成績ですが、本会と支部からの賞品を二重に受け、更にアトラクションまで受け取った人が3〜4人いたようです。この中にもおりますよ!

- ▼優勝 紺野俊三(ライトハウス)
 - ▼準優勝 周原清(ビック)
 - ▼第1位 熊川喜八郎(双葉紙器)
 - ▼第2位 泉田 隆(泉田組)
 - ▼第3位 佐藤浩平(佐藤秀親商店)
- (敬称略)
- でも、浪江支部の皆さんはオリピック精神の方が大多数のようでした。

葉部 双支

オリジナルな研修旅行

今年度の研修旅行は、三ヶ年連続して東京方面。普通の観光旅行では体験できない法人会独特の研修の場と、プラスワンで東京ドームで巨人戦を観ることです。

今般の参加者は14名、7月2・3に日実施しました。先ず上野の東京都美術館で18世紀のフランスの名画・ルーブル美術館展を観て大いに感動し、午後は浅草より隅



田川ライン
下り・12橋
めぐりと浜
離宮見学。
川からの眺
めは一味違
った独特な
眺めでした。
初日のフィ
ナーレは、
東京ドーム

で期待の「巨人対ヤクルト戦」、
白熱したシーズンゲームで延長13
回で試合は決着、6対8で巨人の
負け。真夜中の帰りの足取りは妙
に重い感じでした。

翌3日は、最初に東京証券取引
所見学。予めビデオで判り安く説
明を受け予備知識を得てから、株
券売買立会会場を窓越しに下方に
見ることができました。数百人の
証券マンがサインシートで1日1
兆円もの取引をするとのこと、大
変勉強になりました。

最後に、江戸東京博物館。江戸
から現代に至るまでの変遷を興味
深く見学しました。帰路はバスの
中で親睦を深め合いながら和気あ
いあいうちに、夕刻無事双葉に

着きました。

岡部 富支

第22回通常総会開催

本年は6月11日に富岡町「とり
ふじ別館」にて、第22回通常総会
を開催いたしました。

相馬税務署の早川法人課税部門
統括官に、法人税法についてのご
講演をいただいた後、総会におい
て東北税理士会相馬支部の川村会
長にご祝辞をいただき、事業報告・
決算、事業計画・予算案を満場一
致で可決承認し、さらに河原百人
支部長をはじめ新執行部を選出承
認しました。

創立以来、支部長であり相双法
人会副会長の坂本良二氏が、今年
の総会で勇退されました。坂本良
二氏は22年の長期にわたり会員増
強や福利厚生事業などに力を注が
れ、その範囲は相双地区にとどま
らず福島県内を縦横無尽に活躍さ
れました。富岡地区では坂本津多
屋さんを知らない会員はだれ一人
としていないほど富岡の顔でもあ
り、事務局の商工会にも頻繁にお
出掛けいただき、綿密な連絡をし
ながら研修活動やゴルフ大会など
の適切な指導をされました。

今後は支部顧問として総会で承
認され、河原百人支部長と新執行
部体制を支えていただけることにな
っています。坂本氏が残した22
年間の功績は厚く、新執行部とし
てもこれら一つ一つの事業の忠実な
継承を念頭におきつつ新事業を展
開する所存です。

本年は特に、5月から6月にか
けて複式簿記の記帳方法を重点に
した講習会（延べ9日間）を実施
し、秋（11月）には研修内容の範
囲をさらに広げて、延べ15日間程
度の簿記3級を目標にした講習会
を企画いたします。また、消費税
法や法人税法などの改正に伴い、
その要点や適切な処理について、
決して税理士任せにせず、商工業
者自らが学ぶための講習会を10月
に開催いたします。更に、9月に
はゴルフ大会を開催し会員相互の
親睦を図るほか、来年2月には例
年同様研修旅行を計画しようとい
うことで、担当委員を決定して検
討に入りました。

とにかく、盛り沢山の事業予定
で、本年も富岡町支部は頑張りま
す！

部だより

女性部

女性部会長懇談会

会長 洪佐 洋子

3月26日、山形市のメトロポリ
タン山形において女性部会長懇談
会が開催され、出席いたしました。
各地より女性部会長が参集され
まして、初めてお会いする方も多
く先ず自己紹介があり、菅野会長
を中心に会議が進められました。

昨年仙台台が当番でホテル瑞鳳
を会場に華々しく開催された法人
会東ブロック女性部会研修会を、
今年は岩手県担江法人会が担当さ
れ、水沢市において10月23日に開
催されることが決定いたしました。



と同時に、
この会の名
称をめぐつ
ての相談が
先ずありま
して、東ブ
ロックの冠
はそのまま
に落ち着き
ました。

担当法人会からは、事務局長もオプザーバーとして出席され副会長の意気込みも大変で、新しく出来る会場を大会に間に合うよう手配なさるとか、今から準備万端大変なことと思いました。

これより先、3月19日、仙台南法人会の女性部会が新しく発足され、八戸・いわき・一関・須賀川と続き、今年は25部会が参加されることでした。

また、仙台北女性部会発足当時は、東京の女性部会との連係が深かったこと、東ブロック研修会発足から現在に至る経緯などを伺い、部長さん方のご苦勞を改めて感じました。

相双法人会女性部会も8月20日社会貢献活動の一環としての、ちびっ子相撲大会の成功に向かって全力で協力したいと思います。

青年部

『いよいよ今年』
会長 只野 裕一

第10回青年部会総会が、6月23日浪江の百足屋で開催された。来賓に相馬税務署の早川第一統括官と酒井会長を迎えて、お二人から祝辞を頂いた。

議事は、総会に恒例の事業報告・

決算、そして事業計画・予算案に始まり、2年任期の役員改選が行われ、会長、副会長については再任された。

いよいよ今年、と冒頭に書いたが、社会貢献活動の相双ちびっ子相撲大会が8月20日、小結栃東を招いて原町市スポーツセンターで行われる。小学生2学年毎の3部門で試合が行われ、優勝者には玉ノ井杯が贈られる。玉ノ井部屋力士のセレモニーとしてぶつかり稽古、そしてお目当て栃東によるちびっ子力士との申し合いが行われる。お昼には振る舞いチャンコ鍋が用意され、観戦者全員に味わって貰う。玉ノ井部屋チャンコと相双味自慢チャンコに舌鼓を打つこととなる筈である。郷土力士を囲み少年の健全育成とチャンコ鍋、夏休みの楽しい思い出になるであらう。

そして、10月3日には青年部会員研修大会が相馬市で行われる。記念講演は、政治評論家で名高い俵孝太郎氏が決まり、一般開放で開催される。

“いよいよ今年”である。

着任のあいさつ



相馬税務署長
森 喬

相馬税務署長の森でございます。奥山前署長同様、宜しくお願いいたします。

相馬税務署での勤務は初めてでございますが、相双地区は人情味があり、法人会活動も盛んで税に対する関心も非常に高いと伺っておりますので、総会等で皆様にお会いできる日を今から楽しみにしております。

さて、私の故郷は青森で、気候・風土が厳しい中で過ごしてきたこ

とから、温暖で広大な当地に憧れを持って赴任して参りました。任期中は、できるだけ当地のすばらしい特色を発見したいと思っております。

ところで、税務署では調査が大きな柱になっていることから、怖いというイメージがあるようですが、税金に関する相談や広報も積極的に行って開かれた税務署を目指しておりますので、遠慮なくご利用ください。

私どもは適正公平な課税に向けて、誠心誠意努力して参ります。皆様の暖かいご理解とご協力をお願いしまして、着任のあいさつといたします。

相馬税務署職員異動のお知らせ

平成9年7月10日発令 (上段新任、下段前任)

■ お世話になります

課・部門	職名	氏名
	署長	森 喬
総務	課長	前川原 保
管徴	統括官	中村 孝一
個一	〃	小野 英助
個三	〃	佐藤 哲雄
法一	〃	高橋 敏男
法二	〃	高橋 三代志

■ お世話になりました

課・部門	氏名	発令事項
	奥山 修	仙台不服審判所
総務	安食 哲朗	国税局・総務課
管徴	阿部 孝志	花巻・管徴
個一	玉川 博	塩釜・個一
法一	鈴木 健一	福島・法人
法二	菊池 健治	国税局・調査

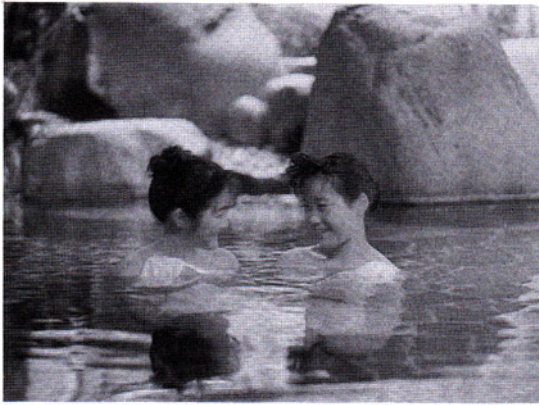
新田川温泉

はらまちユツサ

— 原町支部 —

昔から相双地方には温泉は出ないという説を覆して温泉を掘り当てた新田川温泉。温泉名のように、原町市を流れる新田川の中流を望む所に源泉地がある。

その源泉を活かした施設が今年2月末にオープンした『はらまちユツサ』。お風呂好き、温泉好きに愛好されて、7月末までに既に延べ4万2千人の利用客を数える。アルカリ性の温泉だけに特に皮



膚効能が高く「美人の湯」との評判も。また、神経痛や筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばりやうちみ、くじき、慢性消化器病、冷え症など適応症とされてきて、病後回復や疲労回復、健康増進などを目的とした来館者も多い。

7月1日からは「ユツサの夏」と題して、夜の営業を午後10時まで延長（8月末まで）、毎夕午後5時30分以降は大広間やガーデンを開放して休憩料（700円）を無料サービス、さらには原ノ町駅から夕2便（午後5時30分発と午後6時30分発）の納涼送迎バスを毎日運行している。（平日・日も送迎バス運行）

ところで、はらまちユツサは、湯あそびいっぱい、が謳い文句だけに、1日おきに男湯、女湯が入れ替わる。2つの浴場のお風呂が異なるのだ。脱衣所へ入る暖簾の文字も「男湯」「女湯」ではなく、一方が「かわせみの湯」、他方が「かじかの湯」と命名してある。温泉を満々にした主浴槽や露天風呂、サウナも一方が熱気浴、他方はソルティサウナ、その他、リラクソバスやエステバス、かた



たたき、マッサージ浴など多様な気浴が多種備えてある。

お風呂上がりは、大広間やガーデンで生ビールや食事が楽しめるほか、軽食コーナー、売店なども備えている。

原町市役所横信号から飯館村に向かつて原町川俣線を5キロ、右折を表示した入口看板が見える。電話は0246-2610026（フロ・オオフロ）。

事業主体は、民間活力を結集し

てまちづくり役に役立つと、(株)相双法人会の会員等40名が中心となって設立した株式会社エルネット（代表取締役 関場 啓 本社 原町市本町一丁目101番地）。

編集後記

5号は、原稿集めも順調でしたが、編集の段階で手間どる半月遅れの発行となった。事務局は社会貢献運動の第1弾「ちびっ子相撲大会」の慣れない準備の為、大忙し!! 出場者も予想の2倍と嬉しい限り!! これも久し振りに準地元力士が、小結に昇格し父親以上になるので...という期待感の為か!!

今夏は、青少年健全育成の重要性を問う諸事件が多発したが、21世紀を担う同世代でありながら、今回参加する子供達には、国技を通して心身共に健やかであれ!! と声援をしたい。

紙面の都合上、大同生命、AIUさんの原稿も「ちびっ子相撲」に押し切られた感あり!! 次回に乞うご期待!